

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回
覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 179 (通算 486 回)

2010 年 12 月 16 日 (木)

成績評価が担保する学修の質——

教育インフラで加速する G P A 活用の深化

大学評価・情報シリーズ 27 (通算 487 回)

2010 年 12 月 20 日 (月)

いかに設定・評価・達成するか、その明確さ——

ラーニングアウトカム評価の最前線

成績評価が担保する学修の質——

教育インフラで加速する G P A 活用の深化

～ G P A を機能させる要件 / F D と学生支援の最前線～

- ※ f G P A の卓越性 / 効能発揮の教育インフラ / アウトカムズ評価再考 / 満足感ある学びへ
- ※ [I C U] 成績評価の意味 / 自律学習を支援する教育のしくみ / 学習経過としての G P A
- ※ [西南女学院大] G P 最高点 5 による評価 / 算出プログラム / 教員・学生の利活用 / 深化策
- ※ [北海道大] シラバスコンクール / C A P 制・ G P A 制度・成績分布公表 / データにもとづく改善例

● 講師陣 ●

半田 智久 氏 / (国) お茶の水女子大学 教育開発センター 教授
山口 京子 氏 / 国際基督教大学 教務部 部長
浅尾 憲達 氏 / 西南女学院大学 教務課 課長
安藤 厚 氏 / (国) 北海道大学 名誉教授
前 高等教育機能開発総合センター・高等教育開発研究部長

2010 年 12 月 16 日 (木) 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

いかに設定・評価・達成するか、その明確さ——

ラーニングアウトカム評価の最前線

～ 「10 の底力」 / 学力 × 人間力 / 5 つの質保証力 / プロファイルシート～

- ※ [東京女学館大] 「10 の底力」と卒業成長値 / マッピング表 / 授業実践例 / セルフフィードバックシート
- ※ [金沢工業大] K I T 人間力とプログレスシート / 充実したシラバス / 総合力評価
- ※ [山形大] 明確な目標 / e ポートフォリオ / 教育ディレクター / 学内競争資金 / 外部評価
- ※ [島根大] プロファイルシートの設計と可視化 / 3 つの教師力と 10 の軸 / 汎用性と応用力

● 講師陣 ●

加藤 千恵 氏 / 東京女学館大学 国際教養学部 教授、G P 推進室長
藤本 元啓 氏 / 金沢工業大学 教授、学生部長
松田 岳士 氏 / (国) 山形大学 教育企画室 講師
高岡 信也 氏 / (国) 島根大学 教育学部 教授、前学部長

2010 年 12 月 20 日 (月) 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 179 教育インフラで加速するGPA活用の深化
 2010年12月16日(木) 10:00~16:50
 大学評価・情報シリーズ 27 ラーニングアウトカム評価の最前線
 2010年12月20日(月) 9:40~16:50

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ179 教育インフラで加速するGPA活用の深化	42,000円 (消費税込)	43,000円(送料、消費税込)
大学評価・情報シリーズ27 ラーニングアウトカム評価の最前線	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
 すべての口座名 (株)地域科学研究会
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2010年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 179 教育インフラで加速するGPA活用の深化
 当日参加 メディア参加
- 大学評価・情報シリーズ 27 ラーニングアウトカム評価の最前線
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類 (□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 11:30	<p>□ fGPAの効能発揮を支える教育インフラの要件 ～アウトカムズ評価への挑戦／成績証明の根拠説明～ お茶の水女子大学 半田 智久</p> <ol style="list-style-type: none"> functional GPAが拓く堅牢かつ柔軟な成績評価 ～現況のGPA算出方式に潜む根源的問題の解決 GPA制度の効能発揮に向けて ～初発段階と中長期のプランニング GPA効能発揮のための制度上の整備 <ol style="list-style-type: none"> 絶対的相対評価 単位の意味の実質化～授業内容の水準規定と単位数の見直しへ 柔軟かつアクティブな履修体制 その他 アウトカムズ評価再考 ～成果主義と学士課程教育の性格的不一致、それともそれは…… 教育の質保証～学修プロセス評価へ ～満足感のある学びへ／学修ポートフォリオと形成評価のインフラストラクチャー LMSを用いた授業時間外学習のサポートと単位の实質化 将来展望：評価の国際標準化 ～そのイニシアティブに関する日本の大学のプライオリティ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:40 13:00	<p>□ [ICU] GPAを機能させる教育インフラと運用の実際 ～自律的学修者を支える教育のしくみ／学習経過としてのGPA～ 国際基督教大学 山口 京子</p> <ol style="list-style-type: none"> 成績評価の意味～ICUの考え方 <ol style="list-style-type: none"> 成績評価とGPA制度 成績評価と学習計画～メジャー制の学びのなかで GPAを機能させる教育インフラ <ol style="list-style-type: none"> 科目番号と履修登録制度 厳格な成績評価 履修指導～アドヴァイザー制度 サポート体制～アカデミックプランニングセンター GPA運用の実際 <ol style="list-style-type: none"> 成績不良者への対応 GPAの活用 今後の課題～学生の自己実現に向けて <ol style="list-style-type: none"> GPA運用上の問題点 学生、父母の理解を得るために <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 15:20	<p>□ [西南女学院大] 教育・履修インフラとGPA活用の進化 ～GPA最高点5による不公正解消と成績評価の実際～ 西南女学院大学 浅尾 憲達</p> <ol style="list-style-type: none"> GPA制度導入の経緯 <ol style="list-style-type: none"> 学部新設と制度導入 GPA算出プログラムの作成 プログラムのカスタム化 GPの変遷 <ol style="list-style-type: none"> より正確な評価へ GPAによる成績分布 GPAの利活用の現況 <ol style="list-style-type: none"> 教員の利用状況 学生の利用状況 学内での各種の選考基準としての活用 今後の課題・展望 <ol style="list-style-type: none"> 複数教員担当科目とグレード別クラス科目 まとめ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 16:50	<p>□ [北海道大] シラバス・成績評価制度の進化と運用評価の実際 ～シラバスコンクール、CAP制・GPA制度・成績分布WEB公表による学修の質保証～ 北海道大学 安藤 厚</p> <ol style="list-style-type: none"> 北海道大学における学修の質保証の総合的取り組み 北大の教育改革の歩み <ol style="list-style-type: none"> カリキュラム改革・入試改革 厳格な成績評価・GPA制度・CAP制 学修の質保証を支援するFD <ol style="list-style-type: none"> 全学・教育ワークショップ 全学TA研修会 クリッカー・LMS シラバスコンクール 学修支援 <ol style="list-style-type: none"> 修学指導 学習サポート ピアサポート データに基づく教育改善 <ol style="list-style-type: none"> 履修登録単位数 GPA平均 成績分布 学生の「自習時間」 授業評価アンケート総合点 附属図書館利用数 学生調査ほか <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
9:40 〃 11:00	<p>□ [東京女学館大] 少人数教育で育む「10の底力」 ～すべての授業をキャリア教育に活かす～ 東京女学館大学 加藤 千恵</p> <p>1. 東京女学館大学の教育の特長 (1) 教育の理念 (2) 徹底した少人数・対話型授業 (3) アドバイザー教員による学修支援 (4) カリキュラムの特色</p> <p>2. 「10の底力」プログラムの概要 (1) 「10の底力」の設定と卒業成長値 (2) プログラムの流れ (3) マッピング表とシラバス検索システム (4) レーダーチャートとセルフフィードバックシート</p> <p>3. 教育の質保証に向けて (1) 授業実践例 (2) FD・SDの取り組み (3) 学生による評価 (4) 今後の推進体制と学習成果のとりえ方 (質疑応答)</p>
11:10 〃 12:40	<p>□ [金沢工業大] 「KIT人間力」を育成する教育プログラムの実際 ～総合力評価と社会人基礎能力評価～ 金沢工業大学 藤本 元啓</p> <p>1. 学修教育の全体像 (1) 教育理念と教育目標およびその階層化 (2) アクロノールプログラムとKITポートフォリオシステム</p> <p>2. 総合力評価と学習支援計画書(シラバス) (1) 新学習プロセスCLIP (Creative Learning Initiative Process) (2) 「学力×人間力=総合力」の関係と総合力評価の方法 (3) 学習支援計画書の概要と作成基準</p> <p>3. KIT社会人基礎力育成の全学教育システム (1) システムの概要 (2) 経済産業省社会人基礎力との関係 (3) 能力の自己評価とプログレスシート (4) 能力の伸び (質疑応答)</p>
13:40 〃 15:10	<p>□ [山形大] 5つの取組による質保証を目指して ～達成目標明示/eポートフォリオ/教育ディレクター/YU-GP/外部評価～ 山形大学 松田 岳士</p> <p>1. 教育の質保証を目指した学習システムの構築へ (1) 教育の質保証とは (2) 大学が意思表示する時代に (3) 山形大学における背景事情 (4) 取組の概要</p> <p>2. 到達目標を明確にした自己実現学習システム～5つの取組 (1) 達成目標を明確にした教育プログラム～DPとCPの整合 (2) eポートフォリオの開発・活用～見える化の推進 (3) 教育ディレクター制度～プログラム編成の責任者 (4) 学内競争資金YU-GP～財政的な支援 (5) 教育改革諮問会議による評価～教育改革のシンクタンク</p> <p>3. 現状と課題 (1) 進捗状況 (2) 残された課題と解決への取組 (3) スケジュール (質疑応答)</p>
15:20 〃 16:50	<p>□ [島根大] プロファイル・シートで可視化する「育ち」のプロセス ～「教師になること」支援ツールの開発・運用と汎用性～ 島根大学 高岡 信也</p> <p>1. 「教師を育てる」ことの共有化 (1) 教育学部のDP、CP、LOは描けるか～まずは教員の意識を変える (2) しかけとしての「1000時間体験学修」 (3) 「教師力」を育てる～3つのGPが実現する教育改善の取組み</p> <p>2. 「見えないもの」を見る眼を育てる (1) 教師力育成ツールの設計プロセスと活用法 (2) 3つの教師力10の軸=プロフィール・シートで「見えた」こと (3) 「育てる」指標と「育つ」ための自己評価</p> <p>3. 「学士力」と「教師力」 (1) 「学士力」、「質保証」論の空回り (2) 「教師力」は「教育的実践力」か? (3) 専門職養成学部の「生きる道」</p> <p>4. プロファイル・シートの汎用性と展開力 (質疑応答)</p>